



VOL. 25 2013 8月号

住マイル情報宅配便

《理想の家づくりをお客様と共に》

毎日暑い日が続く、またムシムシと嫌な日々が続きます
湿度70%以上になると蒸し暑く感じます、それが毎日のように続きます
夜も寝苦しく、イライラしてきます、

こんな時WB工法の家は、湿度を安定させ快適な生活をさせてくれます
一度見て・聞いて・体験してください。
きっと納得していただけます 自信があります



峰山町N邸 順調に工事は進んでいます。現在瓦葺きが完了しました。秋の完成に向かって頑張っています



峰山町 I邸 杭工事が始まりました。来春の完成が楽しみです。



住所 京丹後市峰山町安204-7
株式会社 山寅組
本社 住宅事業部(とらちゃんホーム)
0772-62-0308
担当 葉賀(メタボですが、優しさが取り柄です)
坂井(行動力・若さが自慢そして愛があります。)
久下(行動力……どこへでもすぐに駆けつけます)
石田(営業マンなのに口下手ですが、誠意は一番)
《住宅のことならどんなご相談でも

家づくりの思い N025

現場監督と棟梁

少し前までは、建物は全て棟梁の指図により行われていました。しかし現在は、ハウスメーカー等が多くなり家を建てるという感覚ではなく、ただのお金儲けの手段になっている(ちょっと言い過ぎ)棟梁が指図して建築していた時代は、すべて棟梁の考え一つで建てられていました、お客様とのコミュニケーションはほとんどなくまた、大工工事以外は、業者にまかせっきりといった風にまとめているようで、実際はバラバラで行われていることが多くありお客様が離れていった一つの要因でした、では現在はどうなっているのかその住宅の大工の棟梁らしき人物はいますか、請負の現場監督はもしくは責任者はどこにいますか、個人の大工の請負では棟梁が今でも中心で建てられていますが、それ以外はどうでしょうかお客様とのコミュニケーションは営業マンが受け持ち、建物は現場責任者(現場監督)が、建てる中心は大工(棟梁)とそれぞれが分担しています建物の現場責任者は、複数の現場を掛け持ちしていますので一般的にはほとんど、作業員任せで、マニュアルで管理しています大工は、サラリーマン化していて、いかに効率よく作業を行うことに努めます経費の削減をいかに図るかが会社の方針で、営業力ばかりに力を入れて現場管理は名ばかりで職人はマニュアル通りに作業を行い、実際は本当の管理はどこまで行われているかはわかりません

ここでポイント

工事着工前に構造から仕上げまで夏得するまで確認する
追加工事・オプションを必ず確認する、特に棚・ニッチ等細かなものについても業者によりおおきくこととなります(特に大手メーカー)
上棟式には現場員は常駐するなど、今後の監理方針を確認する
請負会社として作業員・材料・施工等の監理と当然ですが
工事は一つ一つの積み重ねです、同じことをいつもしていてもなかなか同じにならないのが仕事です、請負業者としては全て工事の一つですが、施主はこの住宅がすべてです このことが理解できる業者選びのポイントです、高い・安い基準ではなく 施主目線で関わり合い一つ一つを積み重ねて完成させていくか、こんな現場監督や棟梁に出会うことで、希望の住宅がかならず完成します

